

遠隔授業指導案 (Ver.1.0)

概 要	
日時・場所	平成 19 年 9 月 9 日 (日曜日) 午前 9 時 30 分～午前 11 時 (90 分) 美来工科高等学校 進路指導室
対象生徒	美来工科高等学校 電子システム科 3 年次 (3 名) (参加予定生徒名：安里壮貴、神里佳孝、菊池清太)
授業名	インターネット技術の基礎と遠隔コミュニケーション
指導目標	生徒たちが取り組んでいる課題研究 (題名：無線によるネットワークカメラの設定と使用方法について) について、基礎となるインターネット技術の基本知識を理解し、ネットワークカメラなどを使った幾つかの遠隔コミュニケーション方法を知ること、課題研究が単なる事例研究にとどまらず、さらに発展的な取り組みになるための足掛かり(きっかけ)となることを目標とする。
間接効果	生徒にとって未経験の体験をすることによる、知的向学心・探究心の発揚。将来の職業観・人生観に与える好影響。

指 導 内 容		
過 程	内 容	時間
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に普段のインターネットの利用について問いかける。</li> <li>なぜインターネットを使うと世界中のホームページにアクセスできるのか？なぜインターネットはこれほど急速に普及したのか？について疑問を投げかける。</li> </ul>	5 分
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話とインターネットの違い (アナログデータ転送とデジタルデータ転送の違い) について説明し、インターネットは安価に高速大容量化が可能な仕組みであることを理解させる。</li> <li>インターネット技術の基本である IP アドレスについて説明し、Windows パソコンを使ってネットワーク設定の演習を行う。</li> <li>遠隔コミュニケーションは高速大容量通信が可能なインターネットの利用形態としてうってつけだ！とはやし立てる。</li> <li>遠隔コミュニケーションの事例紹介をする。</li> <li>生徒に現在取り組んでいる課題研究の中間報告をしてもらう。</li> <li>遠隔コミュニケーションの新しい利活用方法についてディスカッションする。(参加者：講師、教員、生徒、TA)</li> </ul> <p>(留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の理解を見ながらゆっくり進行する。</li> <li>できるだけ平易な説明を心掛ける。(専門用語羅列は×)</li> <li>適当な頃合にトイレ休憩をとる。(5 分)</li> </ul>	75 分
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の成果目標(どこまで成し遂げたいか?)および今回の遠隔授業の感想を 1 人 1 人話してもらう。</li> </ul>	10 分